

## 2025年度 授業シラバス

科目名	グローバルコミュニケーション	必修 選択	必修	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 グローバル化が進む社会で求められている英単語の知識・文章力を学ぶ。							
【到達目標】 海外実学研修に向けてコミュニケーション能力を身につける							
【教員の略歴】 Borderless communication Lab 代表 多言語にわたる翻訳、通訳、その他言語に関わるサービスを提供 英語講師(コミュニケーション、英検、TOEICの指導)							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	現在形・現在進行形・過去形・過去進行形について	①	現在完了進行形と過去完了形
②	used toとwould、否定文と疑問文について	②	分詞と分詞構文
③	予定のbe going toと予測のwill、未来進行形、willの意志未来	③	使役動詞と知覚動詞
④	提案のshallと助言のshould、推量と許可のmayとmight	④	仮定法
⑤	疑問詞の使い方と間接疑問文	⑤	関係代名詞whoの使い方
⑥	HOWの使い方	⑥	関係代名詞whose, whom, whichの使い方
⑦	形容詞の構文、数詞、序数詞	⑦	関係代名詞that, whatの使い方
⑧	副詞の使い方・位置・作り方	⑧	関係代名詞when, whereの使い方
⑨	受動態について	⑨	複合関係代名詞について
⑩	時の前置詞と場所の前置詞	⑩	複合関係副詞について
⑪	代名詞について	⑪	TEST
⑫	代名詞[it]の使い方	⑫	wouldの応用と会話表見に関して
⑬	接続詞の使い方と構文	⑬	shouldの応用に関して
⑭	TEST	⑭	助動詞について
⑮	比較級と最上級	⑮	完了形について
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	授業態度、出席率、レポート、筆記テスト等
受講生への メッセージ	英語が苦手な人も、好きな人も一緒に楽しみましょう。 Let's enjoy speaking in English.	使用教科書 教材 参考書	English Firsthand Access

## 2025年度 授業シラバス

科目名	コミュニケーションスキル	必修 選択	必修	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人の基本である挨拶をきちんと出来るようにする。</li> <li>・社会人として必要なコミュニケーション能力を学び、事務技能、一般マナーを身につける。</li> </ul>							
【到達目標】							
企業が求めている即戦力及び人間力を身に付け、実行できる生徒を育成し、社会人としてどのような業界でも実力を発揮し自分の将来ひいては企業の将来を担っていく人材を輩出する。							
【教員の略歴】							
秘書検定1級・サービス接客検定1級を取得後、大学・専門学校で約15年ビジネスマナーや就職指導の授業を担当しています。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ガイダンス・コミュニケーションとは？ 挨拶・おじぎ	①	4章 社会的スキルⅡ 6～7
②	2章 基本スタイルⅠ 1～3	②	4章 社会的スキルⅢ 1～2
③	2章 基本スタイルⅠ 4～6	③	4章 社会的スキルⅢ 3～5
④	2章 基本スタイルⅡ	④	4章の復習問題
⑤	3章 自己表現スキルⅠ 1～3	⑤	サービスマインドⅠ 1～4
⑥	3章 自己表現スキルⅠ 4～6	⑥	サービスマインドⅡ 1
⑦	3章 自己表現スキルⅡ 1～3	⑦	サービスマインドⅡ 2～3
⑧	3章 自己表現スキルⅡ 4～6	⑧	直前対策 模擬テスト
⑨	3章 自己表現スキルⅢ 1～2	⑨	検定試験解答とポイント確認
⑩	3章 自己表現スキルⅢ 3～4	⑩	サービスマインド復習問題
⑪	1～3章の復習問題	⑪	キャリアとは ジョハリの窓 自己理解①ソーシャルスタイル理論
⑫	4章 社会的スキルⅠ 1・Ⅱ 2	⑫	自己理解②美点凝視シート 自己理解③キャリアアンカー 価値観・生き方
⑬	前期試験対策	⑬	自己理解④RIASEC パーソナリティと職業興味 自己理解⑤レジリエンス力 困難を乗り越える私の強み
⑭	前期試験	⑭	自己PR プレゼンテーション 準備 →発表
⑮	4章 社会的スキルⅡ 3～4	⑮	プレゼンテーション続き（発表）
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	授業態度、ワークによる参加型授業による平常点を重視しつつ 筆記試験点数を加算する。
受講生への メッセージ	しっかり授業を受ければ、必ず資格取得ができます。一緒に頑張りましょう。	使用教科書 教材 参考書	コミュニケーションスキルアップ検定

## 2025年度 授業シラバス

科目名	ビジネスコンピューター	必修 選択	必修	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 実務上、必ずスキルが必要とされるOfficeアプリケーションのWordとExcelについて、実習を通して学習する。 各回、履修した内容についての課題を、当日、もしくは翌週以降におこない、操作を繰り返すことにより、必要なスキルを習得する。							
【到達目標】 実務レベルに対応できるスキルをつけることを目標とする。							
【教員の略歴】 Word,Excel基本的な操作や機能の習得だけでなく、自身のグラフィックデザイナーとしての経験を活かし、Wordで作成する文書であっても、Excelで作成するワークシートであっても、仕上がりの見やすさや見栄えの良さにも気を配ることを含めて、指導するように心掛けている。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	授業ガイダンス・環境確認・データ配布	①	Excel第1章 Excelの基本操作
②	Word第1・2章 Wordの基本操作、文章の編集	②	Excel2章 数式の作成
③	Word第3章 表現力のある文書作成	③	Excel第3章 表の編集
④	Word第4章 図形的应用	④	Excel第4章 グラフの作成
⑤	Word第5章 表の作成	⑤	Excel第5・6章 印刷・ワークシートの操作
⑥	Word第6章 Wordの便利な機能	⑥	Excel第7章 いろいろな関数
⑦	Word第7章 SmartArtグラフィック	⑦	Excel第8・9章 Excelの便利な機能
⑧	Word総復習課題	⑧	Excel総復習課題
⑨	前期試験準備のための模擬試験	⑨	Excel総復習課題
⑩	前期試験準備のための模擬試験	⑩	後期試験準備のための模擬試験
⑪	Word第8章 表的应用	⑪	後期試験
⑫	Word第9章 文書をサポートする機能	⑫	Excel第10・11章 Excelの活用・復習課題
⑬	Word総復習課題	⑬	Excel第10・11章 Excelの活用・復習課題
⑭	前期試験(Word)	⑭	Excel総復習課題
⑮	Word総復習課題	⑮	Excel総復習課題
準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、次回出席のこと。	評価方法	授業態度、出席率、課題提出率・完成度、臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生への メッセージ	社会人として即戦力として活躍するために、この授業で、しっかりとスキルを身につけておきましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、出席をするようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	滋慶出版Word2016・Excel2016 USBメモリ必携

# 2025年度 授業シラバス

科目名	映像基礎知識	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
<b>【授業の学習内容】</b> コンピュータを使った映像の仮想編集(ノンリニア編集)の基礎を学びます。撮影・録音した映像や音声のデータの取り込みから、様々な加工を経て完成品の出力までを扱います。前期は主にPremiereを用いたタイムシーケンスの作成を、後期はPhotoshop、Illustrator、After Effectsを用いてよりグラフィカルなタイムベースドデザインの基本を学びます。							
<b>【到達目標】</b> 定番のアプリケーションであるAdobeのPremiereを中心に、Photoshop、Illustratorなどを使えるようになることが目標です。							
<b>【教員の略歴】</b> 映像やグラフィックデザインの制作を請け負う。PR映像、研修映像、舞台演出映像など。作家として短編映画や映像を用いたインスタレーション作品を発表。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	映像編集概論	①	静止画像の基本 ビットマップとベクトル【Ps】【Ai】
②	クイックツアー(1)撮影と取り込み	②	画像の解像度とトリミング、レタッチ【Ps】
③	クイックツアー(2)タイムラインの構築【Pr】	③	選択範囲と切り抜き【Ps】
④	クイックツアー(3)その他の加工と音の調整、書き出し【Pr】	④	フィルタとレイヤー効果、文字表現【Ps】
⑤	デジタル映像の基礎知識と静止画について【Pr】【Ps】	⑤	基本オブジェクトと文字表現【Ai】
⑥	編集点の追求 アクションつなぎとトリックムービー【Pr】	⑥	直線を使った描画【Ai】
⑦	動きの方向性と音による演出【Pr】	⑦	曲線を使った描画【Ai】
⑧	速度の変化【Pr】【AE】	⑧	モーショングラフィックス(1)基本トランスフォーム【AE】
⑨	色調補正とその他のエフェクト、トランジション【Pr】	⑨	モーショングラフィックス(2)親子関係と速度の変化【AE】
⑩	テロップと合成、モーション【Pr】【Ai】【Ps】	⑩	モーショングラフィックス(3)マスクアニメーション【AE】
⑪	前期最終課題(1)	⑪	音と書き出し【AE】
⑫	前期最終課題(2)	⑫	さまざまなエフェクト【AE】
⑬	マルチカム編集(1)【Pr】	⑬	後期最終課題(1)
⑭	マルチカム編集(2)【Pr】	⑭	後期最終課題(2)
⑮	合評	⑮	合評・特殊効果について
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	試験、出席状況、授業に取り組む姿勢、課題により総合的に評価します
受講生への メッセージ	コンピュータを使った作業・表現が上達する条件は根気と慣れです。授業内課題はもちろん、その他の自主制作など積極的に編集作業に関わってください。やればやるほど、上手くなりますし、面白くなってきます。	使用教科書 教材 参考書	特になし(適宜プリントを配布)

## 2025年度 授業シラバス

科目名	映像表現	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 即戦力になる為の機材の扱い方、仕事への心構えなどを中心に、実践をメインとした学習							
【到達目標】 ロケにおけるカメラアシスタントの役割の理解及びENGカメラの構造の理解。 ロケにおける音声・照明機材の使用方法について。 *現場への即戦力を育てる！							
【教員の略歴】 朝日放送を中心にENGカメラマンとしての撮影経験を持つ。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ENGについて・ケーブルの巻き方	①	ENG音声の基本
②	三脚の取扱い	②	音声の応用
③	ホワイトバランス・基本操作	③	ENG照明の基本
④	走査線・TC・NDとは	④	照明の応用
⑤	外ロケ	⑤	音声・照明を使ったロケ体験
⑥	これまでのおさらい	⑥	音声・照明を使ったロケ体験
⑦	1Kの合わせ方・イマジナリーライン	⑦	音声・照明を使ったロケ体験
⑧	レンズ交換・被写界深度	⑧	ロケ体験撮影 総括
⑨	台本にそっての撮影	⑨	クロマキー撮影
⑩	台本にそっての撮影(屋内・屋外)	⑩	1年間の振り返り
⑪	台本にそっての撮影	⑪	試験前対策
⑫	前期試験(今までのおさらい)	⑫	後期試験(実技)
⑬	30秒動画	⑬	台本にそっての撮影(音声・照明使用)
⑭	前期の振り返り	⑭	テーマにそっての自由撮影(音声・照明使用)
⑮	テーマにそって自由撮影	⑮	テーマにそっての自由撮影(音声・照明使用)
準備学習 時間外学習	TVを見ましょう。 自分の好きなジャンルだけでなく幅広く。	評価方法	出席率・授業態度・テストでの評価
受講生への メッセージ	実技がメインの授業です。 学校内だけでなく外に出る事もあります。 動きやすい服装・靴などを心掛けて下さい。	使用教科書 教材 参考書	PMW-320K/EX1R/C300などのカメラ 音声・照明機材

## 2025年度 授業シラバス

科目名	グラフィックデザイン	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 デザインソフトである、「イラストレーター」「フォトショップ」を使用し、基本的な使い方から応用までを学びます。							
【到達目標】 イラストレーターおよびフォトショップの基礎を身に付け、ポスター・チラシ・パッケージデザイン制作力を身に付ける。							
【教員の略歴】 映像ディレクター・エディターとして、ミュージックビデオ、TV番組、TVCM、企業VPなど幅広い映像制作に携わる。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介、Mac 基礎	①	Photoshop 基礎 ① レイヤーの操作
②	Illustrator 基礎 ① 基本的なツール習得	②	Photoshop 基礎 ② 色の設定と描画の操作
③	Illustrator 基礎 ② 図形、立体図形の制作	③	Photoshop 基礎 ③ 選択範囲をマスターする
④	Illustrator 基礎 ③ キャラクターの制作	④	Photoshop 基礎 ④ 文字とパス、シェイプ
⑤	Illustrator 基礎 ④ オリジナル名刺の制作	⑤	Photoshop 基礎 ⑤ グラデーションとパターン、フィルターについて
⑥	Illustrator 基礎 ⑤ フォント・文字組みについて	⑥	Photoshop 基礎 ⑥ マスクと切り抜き
⑦	Illustrator 基礎 ⑥ TV番組タイトルの制作1	⑦	Photoshop 基礎 ⑦ TVテロップ制作1
⑧	Illustrator 基礎 ⑦ TV番組タイトルの制作2	⑧	Photoshop 基礎 ⑧ TVテロップ制作2
⑨	Illustrator 基礎 ⑧ 企業ロゴの制作1	⑨	Photoshop 応用 ① 写真の修正・加工・合成
⑩	Illustrator 基礎 ⑨ 企業ロゴの制作2	⑩	Photoshop 応用 ② 応用作品の制作1
⑪	Illustrator 基礎 ⑩ クリッピングマスクの習得	⑪	Photoshop 応用 ③ 応用作品の制作2
⑫	Illustrator 基礎 ⑪ カフェメニューの制作(練習)	⑫	後期課題制作 ① 課題グラフィックデザイン制作
⑬	前期課題制作 ① オリジナルカフェメニューの制作1	⑬	後期課題制作 ② 課題グラフィックデザイン制作
⑭	前期課題制作 ② オリジナルカフェメニューの制作2	⑭	後期課題制作 ③ 課題グラフィックデザイン制作
⑮	まとめ	⑮	まとめ
準備学習 時間外学習	長期休暇中の制作課題	評価方法	試験、課題提出率、平常の成績、及び出席状況を総合して評価
受講生への メッセージ	この授業では映像制作においても重要な「デザイン」を学びます。テレビ番組のロゴやテロップ、名刺やポスターなどを、自分で作れるように丁寧に教えますので、ぜひ一緒に頑張りましょう。	使用教科書 教材 参考書	Adobe Photoshop、Adobe Illustrator

## 2025年度 授業シラバス

科目名	2DCG	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 モーショングラフィックのソフトであるAfterEffectsを使用し、基本的な使い方から、応用までを学びます。							
【到達目標】 AfterEffectsの基礎習得および応用							
【教員の略歴】 映像ディレクター・エディターとして、ミュージックビデオ、TV番組、TVCM、企業VPなど幅広い映像制作に携わる。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介、Mac 基礎	①	AfterEffects 応用 ① 3Dモーショングラフィックを作る
②	AfterEffects 基礎 ① トランスフォームの操作	②	AfterEffects 応用 ② 3Dモーショングラフィックを作る
③	AfterEffects 基礎 ② 2Dモーショングラフィックを作る	③	AfterEffects 応用 ③ 3Dモーショングラフィックを作る
④	AfterEffects 基礎 ③ 2Dモーショングラフィックを作る	④	AfterEffects 応用 ④ エフェクトで背景を演出する
⑤	AfterEffects 基礎 ④ コンポジションを出力する	⑤	AfterEffects 応用 ⑤ エフェクトで背景を演出する
⑥	AfterEffects 基礎 ⑤ テキストアニメーションを作る	⑥	AfterEffects 応用 ⑥ 映像を切り抜いて合成する
⑦	AfterEffects 基礎 ⑥ テキストアニメーションを作る	⑦	AfterEffects 応用 ⑦ 映像を切り抜いて合成する
⑧	AfterEffects 基礎 ⑦ カウントダウンアニメーションを作る	⑧	AfterEffects 応用 ⑧ エクスペリションでアニメートさせる
⑨	AfterEffects 基礎 ⑧ カウントダウンアニメーションを作る	⑨	後期課題制作 ① モーショングラフィック制作
⑩	AfterEffects 基礎 ⑨ 写真を使ったスライドショーを作る	⑩	後期課題制作 ② モーショングラフィック制作
⑪	AfterEffects 基礎 ⑩ 写真を使ったスライドショーを作る	⑪	後期課題制作 ③ モーショングラフィック制作
⑫	前期課題制作 ① モーショングラフィック制作	⑫	後期課題制作 ④ モーショングラフィック制作
⑬	前期課題制作 ② モーショングラフィック制作	⑬	後期課題制作 ⑤ モーショングラフィック制作
⑭	前期課題制作 ③ モーショングラフィック制作	⑭	後期課題制作 ⑥ モーショングラフィック制作
⑮	前期 まとめ	⑮	総評
準備学習 時間外学習	長期休暇中の制作課題	評価方法	課題提出率、試験、及び出席状況を総合して評価
受講生への メッセージ	この授業では映像制作において重要な演出効果である「モーショングラフィック」を学びます。カッコいいと思えるような映像を作れるように丁寧に教えますので、ぜひ一緒に頑張りましょう。	使用教科書 教材 参考書	Adobe AfterEffects Adobe Photoshop、Adobe Illustrator

## 2025年度 授業シラバス

科目名	3DCG制作	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 CG制作のワークフローを理解し、3DCG制作に必要な基礎知識を習得する。							
【到達目標】 3ds Maxの基礎を習得し、一人で一通りのオペレーションできるようになる。							
【教員の略歴】 タイトルアートにて、CGを使ったOP制作から、番組内に使用される動画、静止画の制作に携わる。その他様々なアニメ作品に携わる。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	【名前LOGOアニメーション】●CG制作のワークフロー ●3dsmaxの基礎知識●モデル制作	①	【キャラアニメーション】作画素材を基に3DCGの合成 ●カメラ設定●レンダリング●AE編集
②	【名前LOGOアニメーション】●シーンの組方●テクスチャ ●カメラ設定●アニメーション制作	②	【キャラアニメーション】実写合成写真 ●カメラ設定●三点照明
③	【名前LOGOアニメーション】●アニメーションカーブ ●ライト設定●3dsmaxレンダリング設定●保存方法	③	【キャラアニメーション】実写合成写真 ●レンダリング●AE編集
④	【魚のアニメーション】 ●モデル制作	④	【ロボットアニメーション】 ●モデル制作
⑤	【魚のアニメーション】 ●テクスチャ制作	⑤	【ロボットアニメーション】 ●モデル制作
⑥	【魚のアニメーション】 ●ボーン設定	⑥	【ロボットアニメーション】 ●テクスチャ制作●ボーン設定
⑦	【魚のアニメーション】 ●ボーン設定●アニメーション制作	⑦	【ロボットアニメーション】 ●テクスチャ制作●ボーン設定
⑧	【魚のアニメーション】 ●アニメーション制作●3dsmaxレンダリング●AE編集	⑧	【ロボットアニメーション】 ●形状変形 アニメーション制作
⑨	【キャラアニメーション】 ●イメージボード制作●モデル制作	⑨	【ロボットアニメーション】 ●形状変形① アニメーション制作
⑩	【くす玉のアニメーション】 ●エフェクト制作 ●AE編集	⑩	【ロボットアニメーション】 ●形状変形① アニメーション制作
⑪	【キャラアニメーション】 ●テクスチャ制作●ボーン設定	⑪	【ロボットアニメーション】 ●形状変形② アニメーション制作
⑫	【キャラアニメーション】 ●テクスチャ制作●ボーン設定	⑫	【ロボットアニメーション】 ●形状変形② アニメーション制作
⑬	【キャラアニメーション】 ●歩く・走る アニメーション制作	⑬	【ロボットアニメーション】 ●カメラ設定 ●AE編集 ●ブラッシュアップ
⑭	【キャラアニメーション】 ●歩く・走る アニメーション制作	⑭	【ロボットアニメーション】 ●レンダリング
⑮	前期の講評	⑮	●1年間の講評 ●春休みの授業計画
準備学習 時間外学習	3DCG制作ではCGのソフトだけでなく、様々なソフトも使用します。 習得するには、たくさん覚えなければならないことがあり、技術面でも たくさん練習しなければ上達しません。 授業内では、きちんとメモを取り、一人でもオペレーションできるように 復習をしてください。	評価方法	出席率、試験 個々の作品の完成と、提出
受講生への メッセージ	CG制作では制作するモチーフを、たくさん観察し、知ることがとても重 要になってきます。分からない時には、可能であれば実際にモチーフ に触ってみてください。重さや触感、動き方の仕組みを知ったりと、学ぶ ことはたくさんあります。人のアニメーションを付ける時には、鏡の前 に立ち自分自身の動きを観察して下さい。時には自分自身をビデオカ メラで撮影してみるのもいいです。人間観察もたくさんして下さい。	使用教科書 教材 参考書	ノート、筆記用具、ハードディスク

## 2025年度 授業シラバス

科目名	音声・音響効果	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 機材についての理解を深める様に実機を使用して授業を行います。							
【到達目標】 PAに必要な基礎を学ぶ。							
【教員の略歴】 レーコーディング会社やイベント会社に入社し、レーコーディング・ライブPA・イベントPA・ミュージカルなどいろいろな現場を経験。 その経験を経て、独立し「SHOW UP」を設立。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	PA機材について:各機器の名称及び役割 基本配線	①	エフェクターについて リバース
②	ケーブルについて マイクについて	②	エフェクターについて デレイ
③	ケーブルについて マイクについて	③	エフェクターについて コンプレッサー/ゲート
④	ミキサーについて 基本	④	イコライザーについて
⑤	ミキサーについて	⑤	バンドPAについて①
⑥	スピーカーについて	⑥	バンドPAについて②
⑦	アンプについて	⑦	バンドPAについて③
⑧	簡易PAシステムの構築①	⑧	PA演習①
⑨	簡易PAシステムの構築②	⑨	PA演習②
⑩	簡易PAシステムの構築③	⑩	PA演習③
⑪	簡易PAシステムの構築④	⑪	PA演習④
⑫	デジタルとアナログについて	⑫	PA演習⑤
⑬	モニターシステム①	⑬	PA演習⑥
⑭	モニターシステム②	⑭	PA演習⑦
⑮	モニターシステム③	⑮	PA演習⑧
準備学習 時間外学習	機材についての知識も必要ですが、音に関しての感性を磨くために色々なジャンルの音楽を聴いてください。	評価方法	試験、レポート提出と出席率で評価します。
受講生への メッセージ	わからない用語とか出てきますが、その都度質問してください。	使用教科書 教材 参考書	特になし

## 2025年度 授業シラバス

科目名	マネジメント・プロデュース	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 マネージャーの仕事に必要な知識、社会人としての常識も学習します。							
【到達目標】 マネージャーとしての基礎知識をまなぶ							
【教員の略歴】 東京の大手芸能事務所マネージャーを経て2006年から大阪のプロダクションにてマネージャーを務めている。現在、グループ全体のタレントマネジメントの統括以外に演劇プロデューサー、イベントプロデューサーなど様々なジャンルのプロデュースやマネージメントを手がける。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	マネージャーとしての心構え	①	音楽関係マネージャーの知識
②	業界用語いろいろ	②	舞台関係マネージャーの知識
③	業界用語いろいろ	③	ディナーショーの組み方
④	業界用語いろいろ	④	視聴率とは
⑤	マネージャーのまわりの職業の話	⑤	ロケの仕事の知識
⑥	タレントの仕事の種類	⑥	ロケの仕事の知識 国内①
⑦	業界で注意が必要な言葉	⑦	ロケの仕事の知識 海外②
⑧	業界で注意が必要な言葉	⑧	ロケの仕事の知識 ②
⑨	タレントの分析	⑨	マネージャーに必要な知識
⑩	舞台の仕事のマナー	⑩	マネージャーに必要な知識
⑪	タレント及び周りの方への気配り	⑪	マネージャーに必要な知識
⑫	タレント及び周りの方への気配り	⑫	課題
⑬	課題	⑬	今の芸能界の動き
⑭	タレントの移動手段	⑭	タレントの衣裳の話
⑮	まとめ	⑮	まとめ
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	試験、出席率、レポート提出
受講生への メッセージ	授業に真面目に無遅刻・無欠席を目指してください。	使用教科書 教材 参考書	

## 2025年度 授業シラバス

科目名	撮影ワーク	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
<b>【授業の学習内容】</b> 現在映像業界で多用されている『ドローン』の基本知識、基本操舵の学習から始め、今現在、業界内でも一歩先を行くドローンの撮影技法、ドローンならではの構図、撮影現場での必要とされる知識、技術、交渉方法など、現在から今後に求められるであろうスキルをトータルで学習し、業界内で活躍できる様な人材育成とする。							
<b>【到達目標】</b> ドローンに関する現行法律を完璧にマスターし、法改正などのアップデートに即時対応できる様になる。ドローンの基本的操舵はもちろん、ドローンを用いたカットの提案、撮影のプランニングをできる様になる。							
<b>【教員の略歴】</b> 映画の撮影部として活動する傍ら、いち早くドローンのスキルを習得。現在は第一線のドローンカメラマンとして活動する。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ドローンの各部操作方法、飛行前点検、離陸、ホバリング	①	飛行環境の確認方法、天候の予測
②	ドローンの各部操作方法、飛行前点検、離陸、ホバリング	②	飛行環境の確認方法、天候の予測
③	ドローンの構造、制御方法、各部の名称、役割	③	基本操舵技術3
④	ドローンの構造、制御方法、各部の名称、役割	④	基本操舵技術3
⑤	パラメーターの見方、設定方法	⑤	カメラセクションの設定方法、機種別パラメーターの違い
⑥	パラメーターの見方、設定方法	⑥	カメラセクションの設定方法、機種別パラメーターの違い
⑦	飛行に関する法律、条例	⑦	【特殊な撮影方法】飛行時の危険回避、リスクマネジメント
⑧	飛行に関する法律、条例	⑧	【特殊な撮影方法】飛行時の危険回避、リスクマネジメント
⑨	【基本操舵技術1】撮影に関する法律、条例	⑨	機体別の特性及び操作方法
⑩	【基本操舵技術1】撮影に関する法律、条例	⑩	機体別の特性及び操作方法
⑪	検定・学科、検定・実技	⑪	検定・学科、検定・実技
⑫	空撮用ドローンの種類、機体別特性、活用方法	⑫	撮影現場での行い、シミュレーション
⑬	空撮用ドローンの種類、機体別特性、活用方法	⑬	撮影現場での行い、シミュレーション
⑭	【基本操舵技術2】ドローンカットのプランニング、飛行プラン策定	⑭	映像業界以外でのドローンの活用
⑮	【基本操舵技術2】ドローンカットのプランニング、飛行プラン策定	⑮	映像業界以外でのドローンの活用
準備学習 時間外学習	操作になれたら、積極的に校内でフライトしてみましょう。	評価方法	出席率・試験・授業態度
受講生への メッセージ	本物の機体に触れて、実際に飛ばしてドローンの動きを体現し、体で操舵を覚えて下さい。また、実機の大きさやスピードも体験し、「安全」の大切さや、操作する上での「責任感」も養って欲しいです。	使用教科書 教材 参考書	特になし

## 2025年度 授業シラバス

科目名	舞台制作	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 イベント制作(舞台機構)というタイトルにはなっているが、そのみに留まらず広く浅く雑学も含めて解り易く学び、芸能に関わるものとしての基本を身につけていく。							
【到達目標】 舞台芸術における舞台の成り立ちや舞台用語、ルールなど舞台人としての基礎知識を習得する。							
【教員の略歴】 数多くの舞台美術/舞台監督を担当							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	舞台とは？ 舞台の基礎知識	①	照明の基礎知識 1
②	歴史から見る舞台 1	②	照明の基礎知識 2
③	歴史から見る舞台 2	③	舞台、イベント運営について
④	舞台に関する数字のエトセトラ 尺貫法、舞台用語	④	舞台、イベント運営における損益分岐点分析
⑤	平台と箱馬、力学的に見る平台の組み方 1	⑤	舞台に関わる法律
⑥	平台と箱馬、力学的に見る平台の組み方 2	⑥	消防法
⑦	吊りもの、綱場の構造	⑦	安全確認とリスクマネジメント
⑧	舞台での安全管理	⑧	後期試験対策 1
⑨	コネクタによる消費電力量の違い	⑨	後期試験対策 2
⑩	舞台、放送における様々な技術職	⑩	後期試験対策 3
⑪	音響の基礎知識 1	⑪	後期試験 筆記試験
⑫	前期試験対策	⑫	著作権と肖像権
⑬	前期試験 筆記試験	⑬	一年間の総復習
⑭	音響の基礎知識 2	⑭	補完講義 1
⑮	前期の復習	⑮	補完講義 2
準備学習 時間外学習	時間外学習は必要ないが、普段の生活から様々なことに興味を持ってほしい。	評価方法	各期の筆記試験を中心に受講態度、積極性も判断の基準としたい
受講生への メッセージ	座学中心ではあるが難しい知識のみの講義にならない様、解り易くしていきたい。質問は随時受け付けるので気になった事があれば聞いて欲しい。	使用教科書 教材 参考書	プロ音響データブック、その都度必要なプリントは配布する

## 2025年度 授業シラバス

科目名	ステージワーク	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 前期はアナログミキサーの操作、簡易音響システム構築の習得。 後期はデジタルミキサーの操作、マイクやスピーカーの特性を理解し、効率的な音響システムプランの習得							
【到達目標】 音響の基礎知識、アナログ卓の理解、業界人としての心構えなど基礎技術を習得する							
【教員の略歴】 イベントや音楽イベントなど、関西中心に活躍中。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	音響基礎①(使用するアイテムの紹介)	①	前期のおさらい①
②	音響基礎②(マイク、スピーカーの構造)	②	前期のおさらい②
③	アナログミキサー①(小型ミキサー)	③	デジタルミキサー①
④	簡易システム構築	④	デジタルミキサー②
⑤	電気の基礎(ケーブル、コネクタ)	⑤	マイクプラン(素材に合わせた選定)
⑥	イコライザー、リバーブなど、録音再生機	⑥	スピーカープラン(空間に合わせた構築)
⑦	アナログミキサー②(大型ミキサー)	⑦	音響プランニング
⑧	システム構築①	⑧	システムチューニング①
⑨	システム構築②	⑨	システムチューニング②
⑩	システム構築③	⑩	実習①
⑪	ワイヤレスシステム①(操作方法)	⑪	実習②
⑫	ワイヤレスシステム②(電波について)	⑫	実習テスト
⑬	実習テスト	⑬	進級公演に向けて①
⑭	ワイヤレスシステム③(実際の運用について)	⑭	進級公演に向けて②
⑮	前期まとめ	⑮	後期まとめ
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	試験、出席と授業態度を重視します
受講生への メッセージ	放芸の音響は日本一と言われる音響を目指しましょう	使用教科書 教材 参考書	

## 2025年度 授業シラバス

科目名	イベント制作	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 PAの基礎を理論から実践までを講義形式で学ぶ							
【到達目標】 PAの基礎を理論から実践までを1年間で習得する。 火曜日の授業に連携して基礎力アップを目指す。							
【教員の略歴】 関西のイベントや音楽フェスなど多ジャンルを網羅している音響エンジニア							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	音について①	①	チューニング実習①
②	音について②	②	チューニング実習②
③	ケーブル巻き/スタンド立て	③	学内ホールのPAシステムについて
④	電気の基礎と音響機器について	④	カラオケPAシステムセットアップ①
⑤	音響機器について	⑤	カラオケPAシステムセットアップ②
⑥	ケーブルと端子について	⑥	カラオケPA実習
⑦	マイクについて①	⑦	弾き語り実習
⑧	マイクについて②	⑧	バンドセットセッティング①
⑨	簡易システムセットアップ①	⑨	バンドセットセッティング②
⑩	簡易システムセットアップ②	⑩	復習
⑪	ワイヤレスシステムについて①	⑪	バンド実習に向けて①
⑫	実習テスト	⑫	バンド実習に向けて②
⑬	ワイヤレスシステムについて②	⑬	実習テスト
⑭	エフェクターについて	⑭	バンド実習
⑮	システムプランニング	⑮	1年間の総まとめ
準備学習 時間外学習	授業内容を復習と繰り返し行う	評価方法	実技試験と出席評価
受講生への メッセージ	最初は基礎でなかなか難しいですがしっかりノートを取って復習すれば必ず理解できるので、1年間頑張ってください。	使用教科書 教材 参考書	

## 2025年度 授業シラバス

科目名	表現演習	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年

### 【授業の学習内容】

俳優として必要な身体・心構え、度胸を養う

### 【到達目標】

役作りのプランニング方法の習得。及び柔軟な思考を育て、演者としての心得を学ぶ。

### 【教員の略歴】

舞台製作を主とした芸能事務所に所属

全国の芸能事務所やスクール等で芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導も行い、子役からシニアまでこれまでに1500名以上の俳優を育てている。関西テーマパークでの大型ショーのアクションコーディネーターや「ワンピース音宴」「宝塚歌劇団」の殺陣指導など幅広い活動を行っている。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	身体訓練①	①	演技メソッド① メソッド概論
②	身体訓練①	②	演技メソッド② 「心の中のセリフ」
③	身体訓練② 発音、滑舌の訓練	③	演技メソッド② 「心の中のセリフ」
④	身体訓練② 発音、滑舌の訓練	④	演技メソッド③ 「レセプション」
⑤	身体訓練③ パワースピーチ(人前に立つ度胸の習得)	⑤	演技メソッド③ 「レセプション」
⑥	身体訓練③ パワースピーチ(人前に立つ度胸の習得)	⑥	演技メソッド④ 「二義的」
⑦	感情表現① 簡単なセリフで様々な感情表現に挑戦	⑦	演技メソッド④ 「二義的」
⑧	感情表現① 簡単なセリフで様々な感情表現に挑戦	⑧	演技メソッド⑤ 「セルクル」
⑨	感情表現② 1P程度の台本「マチコと宗像」の読解	⑨	演技メソッド⑤ 「セルクル」
⑩	感情表現② 1P程度の台本「マチコと宗像」の読解	⑩	演技演習① 台本「スタンド・バイ・ユー」を使用してメソッドを当てはめる
⑪	感情表現③ 1P程度の台本「マチコと宗像」の立ち稽古	⑪	演技演習① 台本「スタンド・バイ・ユー」を使用してメソッドを当てはめる
⑫	感情表現③ 1P程度の台本「マチコと宗像」の立ち稽古	⑫	演技演習② 台本「スタンド・バイ・ユー」メソッドを当てはめ立ち稽古
⑬	感情表現④ 1P程度の台本「マチコと宗像」の通し	⑬	演技演習② 台本「スタンド・バイ・ユー」メソッドを当てはめ立ち稽古
⑭	感情表現④ 1P程度の台本「マチコと宗像」の通し	⑭	演技演習③ 台本「スタンド・バイ・ユー」通し
⑮	演技メソッド① メソッド概論	⑮	演技演習③ 台本「スタンド・バイ・ユー」通し
準備学習 時間外学習	筋力トレーニング・ストレッチ 映画・ドラマ鑑賞	評価方法	試験、出席率・授業態度・スキルの向上度合
受講生への メッセージ	まず恥ずかしいを無くしましょう。 次に普段自分が無意識に行っている行動はどのように行っているのか有意識化する事が重要。自分を知ることが演技の上達への近道です。	使用教科書 教材 参考書	

## 2025年度 授業シラバス

科目名	パフォーマンス演習	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ストレッチ、柔軟、バーレッスン、センターレッスン、コンビネーションなど							
【到達目標】 バレエレッスンを通して、姿勢を良くし、身体の軸を鍛えると共に、柔軟な身体作りや表現力の向上を目指す							
【教員の略歴】 4歳よりバレエスクールに通い、9歳でTAPをはじめ。のちにスクールメイツとなり、TV番組などで数々のアーティストのバックダンサーを経験する。その他、アメリカ公演、オーストラリア公演など、海外でのショーへも参加。以後30年バレエ、TAP、JAZZの講師を務める。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ストレッチ、バー、ジャンプ(基本) ①	①	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン、センター ①
②	ストレッチ、バー、ジャンプ(基本) ②	②	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン、センター ②
③	ストレッチ、バー、ジャンプ(基本) ③	③	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン、センター 応用①
④	ストレッチ、バー、ジャンプ(基本) ④	④	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン、センター 応用②
⑤	ストレッチ、バー、ターン(基本) ①	⑤	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン、センター 応用③
⑥	ストレッチ、バー、ターン(基本) ②	⑥	ストレッチ、バー、ジャンプ(inter)、センター 応用①
⑦	ストレッチ、バー、ターン(基本) ③	⑦	ストレッチ、バー、ジャンプ(inter)、センター 応用②
⑧	ストレッチ、バー、ターン(基本) ④	⑧	ストレッチ、バー、ジャンプ(inter)、センター 応用③
⑨	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン、センター	⑨	ストレッチ、バー、コンビネーション
⑩	ストレッチ、バー、コンビネーション	⑩	ストレッチ、バー、コンビネーション
⑪	ストレッチ、バー、コンビネーション	⑪	ストレッチ、バー、試験のコンビネーション
⑫	ストレッチ、バー、試験のコンビネーション	⑫	ストレッチ、バー、ジャンプ(inter)、ターン(inter)、センター
⑬	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン、センター(復習)	⑬	ストレッチ、バー、ジャンプ(inter)、ターン(inter)、センター
⑭	ストレッチ、バー、試験のコンビネーション	⑭	1年間の復習
⑮	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン、センター(復習)	⑮	総評
準備学習 時間外学習	柔軟	評価方法	定期試験、出席状況、授業の取り組み姿勢、上達度、ポジション、ステップの正確さ、表現力。
受講生への メッセージ	バレエのレッスンの積み重ねが大切です。レッスンを通じて美しい姿勢や立ち振る舞いを習得すると共に、忍耐力や表現力を育てていきましょう。	使用教科書 教材 参考書	男子、バレエシューズ、タイツ 女子 バレエシューズ、タイツ、レオタード、スカート

## 2025年度 授業シラバス

科目名	ミュージカル演習	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 1. 柔軟性のある体と心を鍛え、腹式を意識した発声 2. 舞台用語への理解 3. ミュージカル 4. 演じる事の楽しさを学ぶ							
【到達目標】 ・呼吸法、母音法、フレージング法の習得。 ・歌・演技・踊りを学ぶことで感情豊かな表現力を身につける。							
【教員の略歴】 劇団四季出身 地方テーマパーク メインシンガー パレードMC、その他Live出演。個人ヴォイストレーナー							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	目的意識向上 腹式呼吸法 母音法	①	腹式呼吸法 母音法 課題について
②	腹式呼吸法 母音法 行動力強化	②	腹式呼吸法 母音法 歌唱基礎
③	腹式呼吸法 柔軟基礎 表現力強化	③	腹式呼吸法 母音法 コーラスワーク
④	腹式呼吸法 リズム感 行動力強化	④	腹式呼吸法 ダンス基礎 演技基礎
⑤	腹式呼吸法 歌唱基礎 記憶力強化	⑤	腹式呼吸法 協調性強化 感情表現
⑥	腹式呼吸法 歌唱基礎 表現力強化	⑥	腹式呼吸法 歌唱基礎 試験課題練習
⑦	試験課題練習 腹式呼吸法 体力強化	⑦	腹式呼吸法 演技基礎 試験課題練習
⑧	試験課題練習 腹式呼吸法 表現力強化	⑧	腹式呼吸法 歌唱基礎 試験課題練習
⑨	試験課題練習 腹式呼吸法	⑨	腹式呼吸法 表現力強化 行動力 試験課題練習
⑩	腹式呼吸法 母音法 行動力 試験課題練習	⑩	腹式呼吸法 ダンス基礎 体力強化 試験課題練習
⑪	腹式呼吸法 母音法 ダンス基礎 試験課題練習	⑪	目的意識の再確認 腹式呼吸法 試験課題練習
⑫	目的意識向上 腹式呼吸法 母音法 試験課題練習	⑫	腹式呼吸法 母音法 試験課題練習
⑬	腹式呼吸法 歌唱基礎 記憶力強化 試験課題練習	⑬	後期試験
⑭	前期試験	⑭	腹式呼吸法 母音法 歌唱基礎
⑮	腹式呼吸法 母音法 行動力強化 基礎体力向上	⑮	腹式呼吸法 母音法 表現力強化
準備学習 時間外学習	柔軟性を高める事や 目的意識の確認授業内容の歌唱課題や振り付けの復習	評価方法	試験 挨拶 受講態度 課題へ取り組む姿勢・ 集団行動能力 コミュニケーション能力の有無
受講生への メッセージ	表現する事の大切さや舞台に立つ姿勢、 覚悟等必要なスキルを共に楽しみながら学びましょう。	使用教科書 教材 参考書	映画音楽・ミュージカル楽曲(アイダ等)

## 2025年度 授業シラバス

科目名	アクティング演習	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4)	開講区分	通年

### 【授業の学習内容】

おもに時代劇で演じられる剣劇シーン、いわゆる殺陣と呼ばれる、刀を使う格闘シーンにおいての必要な知識、基本、危険性などを実際に経験し演じながら学んでいただきます。お芝居の中での殺陣のあり方を考え、いろんなシチュエーションの中で安全かつ効果的に演じる方法を身につけていただきます。

### 【到達目標】

芝居を交えた殺陣(基本的な技術の組み合わせ)を演じる為の、基礎体力と知識・技術を身に付ける。

### 【教員の略歴】

Japan Action Club(現Japan Action Enterprise)に所属、スタントパフォーマーとして活動、映画「Last Samurai」に参加、その後、アクションディレクター・殺陣師・スタントコーディネーターとして、主に京都の東映撮影所・松竹撮影所・NHK大阪で活動しています。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	殺陣とは何か・時代劇の所作・刀の知識、	①	米の字に斬る(連続)・・・真向・横薙ぎ・袈裟斬り・斬り上げ・突き(反復練習)
②	殺陣の基本となる構え方・刀の振り方	②	走り込みながら打ち込み～流し方・流され方
③	様々な斬り方・・・真向斬り・袈裟斬り	③	米の字に斬る(足捌きあり)・・・真向・抜き銅・・・袈裟斬り・斬り上げ・突き
④	対人での打ち込みと受け方・・・正面	④	走り込みながら打ち込み～流し方・流され方 反復練習
⑤	様々な斬り方・・・横薙ぎ・斬り上げ・突き	⑤	米の字に斬る(足捌きあり)・・・真向・抜き銅・・・袈裟斬り・斬り上げ・突き(反復練習)
⑥	対人での打ち込みと受け方・・・横面	⑥	走り込みながら斬り込み～抜き銅ノリアクション
⑦	米の字に斬る・・・真向・横薙ぎ・袈裟斬り・斬り上げ・突き	⑦	対人での斬り込みに対する避け方・受け方(コンビネーション)
⑧	対人での打ち込みと受け方・・・突き	⑧	走り込みながら斬り込み～背切りノリアクション
⑨	米の字に斬る・・・真向・横薙ぎ・袈裟斬り・斬り上げ・突き(反復練習)	⑨	対人での斬り込みに対する避け方・受け方(コンビネーション)
⑩	対人での打ち込みと受け方・・・コンビネーション	⑩	走り込みながら斬り込む～跳ね上げノ飛び下がり
⑪	米の字に斬る(連続)・・・真向・横薙ぎ・袈裟斬り・斬り上げ・突き	⑪	対人での立廻り(1vs1)
⑫	対人での打ち込みと受け方・・・コンビネーション(反復練習)	⑫	対人での立廻り(1vs複数)
⑬	前期試験	⑬	後期試験
⑭	前期試験	⑭	後期試験
⑮	前期の復習	⑮	実践的な殺陣
準備学習 時間外学習	ストレッチや柔軟運動、筋トレなどを日常的に行う。時代劇や殺陣シーンを含んだ作品を鑑賞し、時代殺陣のバックボーンを学ぶ。	評価方法	前期・後期末に試験を行い、それまで学んだことを実演していただき評価します。また、日ごろの授業に対する姿勢・態度・出席率を考慮し、授業外での日々の鍛錬も評価の対象とします。
受講生への メッセージ	時代劇やアクション映画で目にする剣戟シーンを演じるための、知識や技術を実際に体を動かして、安全かつ楽しみながら身につけていきましょう。	使用教科書 教材 参考書	木刀(学校で準備)ノ浴衣・帯・袴・足袋・サポーター 等(各自持っている人は持参してください)

## 2025年度 授業シラバス

科目名	セルフプロデュース	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 セルフで、ヘアメイクが出来る様に、スキンケア、基礎的なヘアメイクレッスンをし、プレゼン資料やキャラクターなどを作れ、自身のプロモーションができる内容に。							
【到達目標】 イメージをしっかりと出来る様になり、セルフでメイク・ヘアーが出来る目標。							
【教員の略歴】 広告、映画、CM、Web、show、舞台、講師など							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介、セルフメイクアップ		①	自己分析	
②	スキンケア・肌の構造(理論・実技)		②	骨格別メイク	
③	スキンケア+マッサージ(理論・実技)		③	ハロウィンメイク(スケルトン)	
④	スキンケア+マッサージ+ベースメイク(理論・実技)		④	ハロウィンメイク(オリジナルキャラクター)	
⑤	ベースメイク+ポイントメイク①アイブロー(理論・実技)		⑤	舞台ヘアー・メイク①	
⑥	ベースメイク+ポイントメイク②チーク・リップ③ロー・ハイ(理論・技術)		⑥	舞台ヘアー・メイク②	
⑦	ベースメイク+ポイントメイク①②③④アイメイク(理論・実技)		⑦	ヘアー応用②	
⑧	ヘアー基礎		⑧	トレンドリサーチ(winter)	
⑨	トレンドリサーチ(Summer)		⑨	トレンドリサーチ・コラージュ・ヘアメイク(winter)	
⑩	トレンド・コラージュ・ヘアメイク(Summer)		⑩	プレゼン(winter)	
⑪	プレゼン(トレンドサマー)		⑪	ネイル	
⑫	ヘアー応用①		⑫	デザイン画	
⑬	トレンドリサーチ(Fall)		⑬	プレゼン(spring)テスト	
⑭	プレゼン(トレンドフォール)テスト		⑭	トレンドリサーチ(spring)	
⑮	トレンド・コラージュ・ヘアメイク(Fall)		⑮	トレンド・コラージュ・ヘアメイク(spring)	
準備学習 時間外学習	自身なりの理解を必ず、テキスト、ノートに自分が理解出来る様に書き込み、復習を行い次の授業で活かせるようにし、技術の向上を目指して下さい。		評価方法	試験、授業態度、出席率	
受講生への メッセージ	基礎が大事なので、しっかりと聞きメモを取り、疑問は質問し、基礎を習得しましょう。 いい作品になるように学んでいきましょう。		使用教科書 教材 参考書	ヘアー、メイク道具一式・筆記用具。	

## 2025年度 授業シラバス

科目名	表現基礎	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
<b>【授業の学習内容】</b> 表現をする前にまず自分を知ることから始めます。自らの立ち方、呼吸、声、感情を見つめコントロールするすべを身につけます。そして表現方法をスタニスラフスキーシステムなどの理論に基づいて学びます。							
<b>【到達目標】</b> 自分を知り、表現者として必要な声と体の基礎と表現力を身につける。							
<b>【教員の略歴】</b> 俳優、演出家、演技指導、ドキュメンタリー監督。シニア劇団「すずしろ」では2010年NYで公演。ドキュメンタリー映画「晴れ舞台はブロードウェイで！」制作							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	1分間スピーチ、自分の名前を身体を使って表現する。姿勢の確認。声の仕組み。リラクゼーション。外郎売を読む。	①	外郎の取り合い。いつ、どこ、誰、何をした。何故どのように。
②	1分間スピーチ、サインネーム、姿勢の確認。リラクゼーション。呼吸法。発声。外郎売を読む。	②	基礎訓練、外郎の取り合い、星の王子様①
③	1分間スピーチ。簡単な動きを通して自分の癖を知る。身体の構造を知る。姿勢。呼吸法。発声。リラクゼーション。外郎売を読む。ペットボトルを使って姿勢を整える。	③	基礎訓練、外郎の取り合い、星の王子様②
④	1分間スピーチ、基礎訓練(姿勢、リラクゼーション、呼吸法、発声)基本表現①表情で感情を表現してみる。	④	基礎訓練、外郎の取り合い、星の王子様③
⑤	1分間スピーチ、基礎訓練(姿勢、リラクゼーション、呼吸法、発声)基本表現②体で感情を表現してみる。	⑤	基礎訓練、外郎の取り合い、星の王子様④発表
⑥	1分間スピーチ、基礎訓練(姿勢、リラクゼーション、呼吸法、発声、外郎)基本表現③体で色などを表現してみる。	⑥	二人でシーンをつくる。「誰？私・・・」
⑦	1分間スピーチ。様々な歩き方。真似てみる立つ座る歩く。舞台上での基本的な動きを学ぶ(上、下、センター)。表現の復習。外郎売	⑦	ブンナ配布
⑧	1分間スピーチ(マネ)、基礎訓練、ボールを使ってキャッチボール(準備、行動、達成)、ポーズ取り	⑧	ブンナ①
⑨	1分間スピーチ(マネ)、基礎訓練、ボールを使ってキャッチボールでゲーム(朝ごはん)、宇宙	⑨	ブンナ②
⑩	1分間スピーチ(マネ)、基礎訓練、ボールを使ってキャッチボールでゲーム(朝ごはん)、ジェスチャーゲーム	⑩	ブンナ③
⑪	1分間スピーチ(マネ)、基礎訓練、これまでの確認復習。外郎売の確認	⑪	ブンナ④
⑫	基礎訓練、「煙が目にしみる」①	⑫	後期テスト、ブンナ
⑬	筆記と実技による前期試験。外郎売を覚えて発表する。	⑬	ジブリッシュで会話、1分間スピーチ。
⑭	基礎訓練、外郎の取り合い、「煙が目にしみる」②	⑭	ジブリッシュで外に追い出す。
⑮	基礎訓練、外郎の取り合い、「煙が目にしみる」③	⑮	映像鑑賞と復習。
準備学習 時間外学習	日常での身体の使い方や、感情の動きをよく観察する。	評価方法	定期試験の結果、授業への取り組み態度を参考に各自がどれだけ学び努力したかを評価基準とします。
受講生への メッセージ	授業では身体を動かすことがメインになるので、動きやすく身体のラインがある程度分かる服装で参加してください。その他分からないことや、不安なことがあればいつでも質問してください。	使用教科書 教材 参考書	配布テキスト、ペットボトル

## 2025年度 授業シラバス

科目名	ヴォーカル&ダンス	必修 選択	選択	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】  
基本(呼吸 発声 姿勢 共鳴) 歌唱(ソルフェージュ ハーモニー アカペラ リズム感 表現)

【到達目標】  
基本をしっかり学びながら、それを歌唱に活かせるようにする

【教員の略歴】  
ソロではpops、コーラスではオールジャンルで活動。卒業後はプロダクションなどを中心にVo講師として永年指導に携わっている。2001年からBACでの指導を始める。経験を活かし、プロアマ、ジャンル、老若男女問わず指導し、Vo講師育成、後輩講師へのアドバイスも行っている。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	基本(呼吸 発声 姿勢 共鳴)	①	基本 個人レポーター
②	基本(呼吸 発声 姿勢 共鳴)	②	基本 個人レポーター
③	基本 リズムトレーニング	③	基本 全員でハーモニー作り(課題)
④	基本 リズムトレーニング	④	基本 全員でハーモニー作り(課題)
⑤	基本 リズムトレーニング ソルフェージュ ハーモニー	⑤	基本 全員でハーモニー作り(課題)
⑥	基本 リズムトレーニング ソルフェージュ ハーモニー	⑥	基本 全員でハーモニー作り(課題)
⑦	基本 アカペラ	⑦	基本 個人レポーター
⑧	基本 アカペラ	⑧	基本 個人レポーター
⑨	基本 レポーター(課題)	⑨	基本 個人レポーター
⑩	基本 レポーター(課題)	⑩	基本 個人レポーター
⑪	基本 レポーター(課題)	⑪	基本 個人レポーター 後期試験予告
⑫	基本 レポーター(課題)	⑫	後期試験 個人レポーター
⑬	基本 個人レポーター	⑬	基本 個人レポーター
⑭	基本 個人レポーター 前期試験予告	⑭	基本 発表会
⑮	前期試験 個人レポーター	⑮	基本 発表会
準備学習 時間外学習	授業内容を録音し、学習ポイントを覚え、各自で練習するのは問題ありません	評価方法	試験、授業態度、出席率
受講生への メッセージ	各自体調を管理し、80~100%の出席を望みます	使用教科書 教材 参考書	課題に対しては、講師が用意します。個人レポーターは各自で用意。

## 2025年度 授業シラバス

科目名	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ガイダンスやオリエンテーション、グループワーク、ディスカッションなど、様々な目線からキャリア教育のマインドを学ぶカリキュラム。社会の変化に対応できる人物像を描き、職業理解を深めるとともに、レポートなどで評価する。							
【到達目標】 社会人になるためのキャリアを形成し、将来の進路に対して目標設定を確立させる。							
【教員の略歴】 秘書検定1級・ビジネス技能検定・サービス接客準1級を取得し、大学・専門学校で約20年秘書検定、ビジネスマナー、就職指導を担当しています。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	高校と専門学校の違い・学生と社会人の違い	①	就職ガイダンス
②	キャリアを考える(過去・現在・未来)	②	応募書類の書き方(ポイント)
③	キャリアを考える(未来)	③	応募書類の書き方(長所・短所)
④	自己理解	④	応募書類の書き方(自己PRⅠ)
⑤	自己分析(長所・短所・特性)	⑤	応募書類の書き方(自己PRⅡ)
⑥	自己分析(多角的視点)	⑥	応募書類の書き方(学生時代に力を入れたこと)
⑦	自己分析Ⅰ	⑦	業界研究
⑧	自己分析Ⅱ	⑧	企業研究
⑨	自己分析Ⅲ	⑨	応募書類の書き方(志望動機Ⅰ)
⑩	コミュニケーションのポイント	⑩	応募書類の書き方(志望動機Ⅱ)
⑪	ビジネスマナーの基本	⑪	グループディスカッション・グループワーク
⑫	自己PR練習	⑫	面接対策
⑬	自己PR(プロフィールシート)	⑬	後期試験
⑭	前期試験	⑭	ビジネスマナー(メール・電話)
⑮	就活プロフ帳	⑮	企業プロフ帳
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを学校生活以外でも意識して自分の発展に努めてください。	評価方法	出席率、ワークへの参加姿勢、課題提出率・完成度、臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生への メッセージ	キャリア教育とは社会人になるための人間形成の一つの手段です。 一緒に色々な自分を発見して成長していきましょう！	使用教科書 教材 参考書	

## 2025年度 授業シラバス

科目名	進級制作	必修 選択	必修	年次	1	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 前期15分、後期30分の番組制作を通して、企画立案、台本作成、撮影、編集など、ディレクター、アシスタントディレクターとしての基本を実践的に学ぶ。							
【到達目標】 TV番組制作を通して番組づくりの基礎や技術とのコミュニケーション力や指示力を身に付ける。							
【教員の略歴】 制作プロダクション・MBS企画にて、毎日放送を中心に、ドラマ、バラエティ、情報番組、ドキュメント、報道など多数の番組のディレクター、プロデューサーを務める。現在、映像クリエイターとして、テレビ番組以外にも、ケーブルテレビ、企業プロモーション、自主映画の監督などを務める。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	番組制作の流れ、班分け、企画立案・作成	①	プレビュー・反省会
②	番組・企画内容発表、スケジュール、台本作成①	②	番組・班分け、企画立案作成 企画内容発表、スケジュール、台本作成
③	番組・企画内容発表、スケジュール、台本作成②	③	制作期・撮影準備、技術打合せ
④	台本作成、キャスティング、ロケハン等①	④	制作期・撮影 ①
⑤	台本作成、キャスティング、ロケハン等②	⑤	制作期・撮影 ②
⑥	撮影準備、技術顔合せ～打合せ	⑥	制作期・撮影 ③
⑦	VTR収録準備・技術打ち合わせ	⑦	制作期・撮影、編集
⑧	VTR収録準備	⑧	制作期・編集 ①
⑨	VTR ロケ収録①	⑨	制作期・編集 ②
⑩	VTR ロケ収録②	⑩	制作期・編集 画完パケ
⑪	VTR ロケ収録③	⑪	制作期・MA ①
⑫	制作期・VTR編集	⑫	制作期・MA ②
⑬	制作期・MA	⑬	制作期・MA ③
⑭	スタジオ収録準備①	⑭	制作期・完パケ作業
⑮	スタジオ収録本番	⑮	プレビュー・反省会
準備学習 時間外学習	各班の制作に準ずる	評価方法	試験、出席率と授業への取り組み方、協調性
受講生への メッセージ	自由な発想で、番組制作を楽しみましょう。	使用教科書 教材 参考書	テレビモニター、台本作成、編集用PC